

## 本時のねらい

・ペアと協力してロールプレイすることで道案内の会話ができるようになる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・タブレット端末を活用することで、自らのパフォーマンスを客観的に見ることができる。  
・発表している様子を動画撮影して、その動画を見ながら相互評価、自己評価をして振り返る。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・カメラ機能

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (3分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶をする。</li> <li>○small talk (曜日、日時、天候クイズ) などをする</li> <li>○本時のめあて：道案内をしよう</li> </ul>	
展開 (32分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○場面設定を確認する。</li> <li>○よく使う表現を確認する。</li> <li>○ペアで協力して skit(会話)を完成する。</li> <li>○発表時のポイントを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が聞き取りやすい声の大きさと速さで話す</li> <li>・相手の表情を見ながら会話する</li> <li>・発表後は Thank you と言う</li> </ul> </li> <li>○skit を各自音読練習する。</li> <li>○発表の様子を動画撮影する。 【写真1】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大型提示装置に道順の図を提示して考えさせる。 ※人工内耳を装着している生徒もいるので、教師の指示内容には可能な限り視覚支援のために大型画面に提示する。</li> <li>○大型提示装置にフラッシュカードを提示する。</li> <li>○道順の図と skit を 2 画面で大型画面に提示して説明する。</li> <li>○大型提示装置に発表と評価のポイントを提示しながら説明する。</li> <li>○発表を動画撮影することを伝え、意欲を持たせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対面で相手の顔を見て発表の様子を撮影する。</li> <li>・大きな声でゆっくり、はっきりと相手がわかるように伝えるように指導する。(補助的にプリントを見てもよいと指導)</li> </ul> </li> <li>○発表の動画は、役割を交代して 2 回撮影する。</li> </ul>
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○撮影した動画を見ながら、相手の良かった点と自分の発表を自己評価する。 【写真2】</li> <li>○相手の良かった点について、順番に発表し、共有する。 【写真3】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1度で評価できなかった所は繰り返し動画を見直す。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】 A、B 役割を交代して動画撮影している場面



【写真2】 動画を見ながら、相手の良かった点と自己評価している場面



【写真3】相手の良かった点を順番に発表し共有している場面

## 児童生徒の反応や変容

・動画撮影を行う予定を伝えた事で緊張感を持ちながら、意欲的に何度も skit を練習し、質の良い発表（会話）ができた。  
・相手に伝えるためのポイントを意識しながら、カメラの前でロールプレイすることができた。  
・動画を見て、お互いに相手の良いところをみつけて伝え合うので、英会話での発表に自信がついた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・指示（手順）などを全てパワーポイントで提示して、ユニバーサルデザインを意識した。  
・発表を動画撮影したことにより何度も振り返ることができた。相手の良いところを見つける相互評価と自分のパフォーマンスを振り返る自己評価を一度に行うことができる。